

## (書式1)【候補者用】

|                           |   |
|---------------------------|---|
| ① 立候補者の<br>姓名と所属          | 大沼進 (北海道大学 大学院文学研究科 行動システム科学講座)   |
| ② 立候補の理由と<br>抱負 (400 字程度) | <p>1. 2011 年 3. 11 以来 “にわか自称リスクミの専門家” が席卷し、それまで地道に研究をしてきた研究者らが引いていってしまった、と感じているのは私だけでしょうか。科学的なリスク評価、リスクマネジメント、リスク認知などの基礎研究に裏打ちされたリスク・コミュニケーションへ、そしてトランス・ディシプリナルなリスク・ガバナンスの実践研究へ、学会をあげて有機的な連携につなげるお手伝いができればと思います。</p> <p>2. 「文理融合」や「学際研究」、また、「産学連携」などの大合唱の時代となっています。本学会では 30 年以上前から、そんな大合唱をせずともそれらを当然として先見の明のある取り組みをしてきました。そんな先人たちのスピリッツに思いを馳せながら、次の世代にバトンをつなぐお手伝いができればと思います。</p> <p>分不相応とは自覚しておりますが、微力ながらお役に立てることが一つでもあれば思い立候補いたしました。</p> |
| ③ 本学会における<br>活動歴          | <p>2001 年入会。</p> <p>日本リスク研究学会誌への論文掲載 3 本、年次大会講演 6 本。</p> <p>2016 年度大会優秀発表賞：ポスター部門 (指導学生 飯野麻里 との共著)。</p>   |
| ④ 研究歴・職歴等<br>(100 字以内)    | <p>信頼や手続き的公正など社会心理学の知見を基に、リスクガバナンスを巡る研究に従事。</p> <p>三菱総合研究所、北海道大学助手、富士常葉大学講師を経て 2003 年北海道大学准(助)教授、2018 年 4 月より同教授。</p>   |

## (書式2)【推薦者用】

|                     |  |
|---------------------|--|
| ① 推薦する候補者名          | 大沼 進   |
| ② 推薦者の<br>姓名と所属     | <p>前田恭伸</p> <p>静岡大学大学院工学領域事業開発マネジメント系列</p>   |
| ③ 推薦理由<br>(400 字程度) | <p>大沼進先生は、社会心理学をベースとして、手続き的公正を鍵の概念として、合意形成のプロセスデザインについて研究されています。リスク学の中では、リスクの計測、リスクの最小化、リスクと便益の比較といったことが議論されますが、これらの理論の背景には功利主義という考え方があります。しかし功利主義は社会の中のリスクと便益の分布を論じません。そこでは NIMBY のような問題を処理することができません。そのような状況下で必要になるのが、手続き的公正に基づく意思決定です。大沼先生のご研究はその部分にアプローチするものであり、リスク学の社会実装と密接に関係しています。こういった視点はリスク研究</p> |

の発展にとって重要なものであり、こういった視点から学会の運営にご貢献いただけることを期待しています。